

令和6年7月24日
令和6年9月23日修正
令和6年10月15日修正
(公財) 日本スケート連盟

2024/25 スピードスケート国際競技会派遣選手選考基準

【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【出場に関する制限】

1. 国際スケート連盟 (ISU) によって以下の通り制限される。
 - ・ 各国際競技会への日本の各種目出場枠数
 - ・ 世界距離別スピードスケート選手権大会特別参加資格ランキングリスト (SQRL)
 - ・ 各国際競技会の参加標準記録 (後述)
2. 日本スケート連盟による派遣標準記録 (後述) を設定し、派遣 B 標準記録以内の選手を派遣対象とする。

【特記事項】

- ・ 各国際競技会において、日本の種目出場枠に空きが生じている場合、当該派遣選手団の監督の責任の下、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を追加でエントリーすることができる。この場合、当該種目の派遣標準記録以内であるかどうかは問わない。
- ・ 各種目 (マススタート、チームパシュートを除く) の補欠は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長が、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考する。
- ・ ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- ・ 本選考基準において、JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者 (選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く) の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。
- ・ 代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、派遣リザーブリスト (後述) に登録された選手と入れ替える場合がある。その場合、強化ス

トップに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討する。

- ・ マススタート及びチームパシュートにおいて、対象競技会の成績で選手を選考する場合、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により選考の対象となる条件（以下、「MS・TP 選考条件」という）を以下の通り設定し、いずれかを満たした選手を対象とする。
 - ① 男子は 1500m 又は 5000m、女子は 1500m 又は 3000m のいずれかで 6 位以内の選手。
 - ② 男子は 1500m と 5000m、女子は 1500m と 3000m のタイムの合計ポイントを算出し（ISU ルール第 265 条 3 項に従う）、それぞれ 6 位以内の選手。
 - ③ 1000m～10000m までのいずれかで派遣 B 標準記録以内の選手。
- ・ 本選考基準において、上位派遣標準記録（派遣 SS 標準記録以内の選手同士を比較する必要がある場合は派遣 SS 標準記録）への記録達成率を用いる場合は、以下の算出および比較方法に従うものとする。

男子 500m 派遣 B 標準記録以内の記録 35,40 を持つ a 選手の場合：

派遣 A 標準記録 35,07 が上位派遣標準記録となるため、 $35.07 \div 35.40 \times 100 = 99.06\%$ が記録達成率となる。

男子 1000m 派遣 B 標準記録以内の記録 1.10,30 を持つ b 選手の場合：

派遣 A 標準記録 1.09,38 が上位派遣標準記録となるため、 $69.38 \div 70.30 \times 100 = 98.69\%$ が記録達成率となる。

a 選手と b 選手の比較：

記録達成率の高い a 選手が優位となる。

1. 四大陸スピードスケート選手権大会（11/15～17、日本・八戸、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・TP・TS）

※ MS（マススタート）、TP（チームパシュート）、TS（チームスプリント）

【選考方針】

四大陸スピードスケート選手権大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女各最大 10 名

【枠数】

男子：500m（3）、1000m（3）、1500m（3）、5000m（3）、MS（2）、TP（1）、TS（1）

女子：500m（3）、1000m（3）、1500m（3）、3000m（3）、MS（2）、TP（1）、TS（1）

【選考基準】

対象競技会：第 31 回全日本スピードスケート距離別選手権大会

※ 選考は、距離別部門のみを対象とする。

- （1） 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m 及び男子 5000m の出場枠のうちそれぞれ 1 名の派遣選手は、対象競技会における当該種目の順位に従い、最上位者を選考する。

- (2) 男女マススタートの出場枠のうちそれぞれ1名の派遣選手は、MS・TP 選考条件を満たした選手の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
- (3) 男女チームパシュートの正選手各3名は、当該年度のワールドカップ第1戦又は第2戦に選考（個人種目含む）された選手（派遣リザーブリスト登録者は除く）の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、本連盟主催の強化合宿等におけるパシュート練習での力量についての総合的な検討を加えて、選考する。
- (4) 残りの出場選手は、対象競技会の男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m及び男子5000mにおいて、派遣SS標準記録以内、派遣S標準記録以内、派遣A標準記録以内、派遣B標準記録以内、派遣B標準記録以下の選手の順に、派遣可能人数に達するまで選考する（男子10000m、女子5000m、マススタートを除く）。同じ標準記録内に位置する複数の選手がある場合の優劣は、上位派遣標準記録（派遣SS標準記録以内の選手同士を比較する必要がある場合は派遣SS標準記録）への記録達成率の比較により決する。それでも優劣を決しない場合は、対象競技会における他出場種目の成績にて上記と同様の比較を行う。
- (5) 男女チームスプリントは、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 男女チームパシュート及びチームスプリントにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、本競技会へ向けての練習状況等を総合的に検討し、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長が、必要に応じて行うものとする。
- ・ 本国際競技会への派遣に際し、日本スケート連盟による派遣B標準記録による出場に関する制限は適用しない。
- ・ 上記(1)項において、選考委員会開催までに、選考候補者による当該種目への辞退が確認できた場合は、当該種目の次点者を選考する。また、上記(3)項においても、同様の状況となり候補選手の選考が困難となった場合は、対象範囲を「対象競技会にエントリーしている選手の中から」と変更し、選考する。

2. ワールドカップ第1戦長野大会（11/22～24、500m・1000m・1500m・女子3000m・男子5000m・MS・TP・MR）・第2戦北京大会（11/29～12/1、500m・1000m・1500m・女子3000m・男子5000m・MS・TS）

※ MR（ミックスリレー）

※ 男女500mは、第1～2戦のいずれにおいてもそれぞれ2本実施

【選考方針】

世界距離別スピードスケート選手権大会における日本の出場枠拡大及び次年度のワールドカップにお

ける日本の出場枠維持を目指し、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

制限なし

【枠数】

男子：500m (5)、1000m (5)、1500m (5)、5000m (5)、MS (2)、TP (1)、TS (1)

女子：500m (5)、1000m (5)、1500m (5)、3000m (5)、MS (2)、TP (1)、TS (1)

【選考基準】

対象競技会：第31回全日本スピードスケート距離別選手権大会

※ 選考は、距離別部門のみを対象とする。

- (1) 男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m及び男子5000mの出場枠のうちそれぞれ4名の派遣選手は、対象競技会における当該種目の順位に従い、最上位者から順に選考する。残りの派遣選手は、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、対象競技会にエントリーしている選手の中から、対象競技会の順位や前年度及び今年度の競技成績を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討によって枠数に至るまで選考する。
- (2) 男女チームパシュートの正選手各3名と補欠選手各1名は、MS・TP選考条件を満たした選手の中から、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、本連盟主催の強化合宿等におけるパシュート練習での力量についての総合的な検討を加えて、選考する。また、必要に応じて、当該派遣選手団の中から出場可能な選手1名を補欠に加えることができる（この場合の補欠の優先順位は2番目とする）。
- (3) 男女マススタートの正選手各2名（枠順位1及び2番目）と補欠選手各1名は、MS・TP選考条件を満たした選手の中から、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
- (4) 男女チームスプリント及びミックスリレーは、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (5) 当該派遣選手団の選考に至らなかった次点者を、男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m、男子5000mについてはそれぞれの種目において男女各2名まで、男女マススタート及び男女チームパシュートについては2種目合わせて男女各3名まで、派遣リザーブリスト登録者として選考する場合がある。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ ワールドカップ第1戦における各種目のエントリー順は、ISUワールドカップ参加標準記録の達成を示すための、エントリー時に所持している記録順によるものとする。なお、最終のエントリー順はISUによる決定に従う。
- ・ 各ワールドカップの男女チームパシュートにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、遠征中におけるワールドカップの成績や練習状況等を総合的に検討し、選考時点のJOCハイパフォーマンス

ディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、必要に応じて行うものとする。

- ・ ワールドカップ第1戦長野大会への派遣に際しては、日本スケート連盟による派遣 B 標準記録による出場に関する制限は適用しない。また、ワールドカップ第2戦北京大会への派遣に際して、対象競技会において各距離（マススタートを除く）1～3 位以内の選手に関しては、日本スケート連盟による派遣 B 標準記録による出場に関する制限は適用しない。

3. 第9回アジア冬季競技大会（2/7～14、中国・ハルビン、100m・500m・1000m・1500m・女子3000m・男子5000m・TP・TS）

【選考方針】

第9回アジア冬季競技大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女各最大10名

【枠数】

男子：100m（4）、500m（4）、1000m（4）、1500m（4）、5000m（3）、TP（1）、TS（1）

女子：100m（4）、500m（4）、1000m（4）、1500m（4）、3000m（3）、TP（1）、TS（1）

【選考基準】

対象競技会：第31回全日本スピードスケート距離別選手権大会

※ 選考は、距離別部門のみを対象とする。

第9回アジア冬季競技大会への出場の意思が確認できた者を対象とし、以下の基準に従って選考する。

- (1) 男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m及び男子5000mの出場枠のうちそれぞれ1名の派遣選手は、対象競技会における当該種目の順位に従い、最上位者を選考する。
- (2) 男女チームパシュートの正選手各3名は、対象競技会にエントリーしている選手の中から、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、総合的な検討を加えて、選考する。
- (3) 残りの出場選手は、対象競技会の男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m及び男子5000mにおいて、派遣SS標準記録以内、派遣S標準記録以内、派遣A標準記録以内、派遣B標準記録以内、派遣B標準記録以下の選手の順に、派遣可能人数に達するまで選考する。同じ標準記録内に位置する複数の選手がある場合の優劣は、上位派遣標準記録（派遣SS標準記録以内の選手同士を比較する必要がある場合は派遣SS標準記録）への記録達成率の比較により決する。それでも優劣を決しない場合は、対象競技会における他出場種目の成績にて上記と同様の比較を行う。
- (4) 男女100mの派遣選手は、男女500mで選考された者を選考する。
- (5) 男女チームスプリントは、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 第9回アジア冬季競技大会への出場意思の確認は、第31回全日本スピードスケート距離別選手権大会終了後～2024年10月30日正午までの期間に実施する。なお、指定された期日内に回答が得られなかった者は、本選考の対象から除外する。
- ・ 男女チームパシュート及びチームスプリントにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、本競技会へ向けての練習状況等を総合的に検討し、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長が、必要に応じて行うものとする。
- ・ 本国際競技会への派遣に際し、日本スケート連盟による派遣B標準記録による出場に関する制限は適用しない。

4. ワールドカップ第3戦カルガリー大会(1/24～26、500m・1000m・1500m・女子5000m・男子10000m・MS・TS)・第4戦ミルウォーキー大会(1/31～2/2、500m・1000m・1500m・女子3000m・男子5000m・MS・TP・MR)・第5戦ザゴパネットマシヨフマゾウィエツキ大会(2/21～23、500m・1000m・1500m・女子3000m・男子5000m・MS・TS)・第6戦ヘレンバーン大会(2/28～3/2、500m・1000m・1500m・女子3000m・男子5000m・MS・TP・MR)

※ 男女500mは、第3戦はそれぞれ1本実施、第4～6戦のいずれにおいてもそれぞれ2本実施

【選考方針】

世界距離別スピードスケート選手権大会における日本の出場枠拡大及び次年度のワールドカップにおける日本の出場枠維持を目指し、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

制限なし

【枠数】

男子：500m(5)、1000m(5)、1500m(5)、5000m(5)、10000m(5)、MS(2)、TP(1)、TS(1)

女子：500m(5)、1000m(5)、1500m(5)、3000m(5)、5000m(5)、MS(2)、TP(1)、TS(1)

【選考基準】

対象競技会：ワールドカップ第1～2戦、第92回全日本スピードスケート選手権大会

- (1) 男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m及び男子5000mの出場枠のうちそれぞれ1名の派遣選手は、ワールドカップ第1～2戦のそれぞれについて(500mが2本ある場合は1本ごとに)、種目ごとにディビジョンAおよびBの全レースを対象としたタイムランキングを作成し、いずれか1つでもタイムランキング3位以内の成績を残した選手がいた場合、当該選手を選考する。なお、複数の選手がいた場合は、より上位のタイムランキングを有する選手を選考する。同ランキングにより優劣が決しない場合は、当該選手のセカンドベストにおけるタイムランキングを比較し、優劣を決する。それでも優劣が決しない場合は、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、優劣を決する。
- (2) 男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m及び男子5000mの出場枠のうち、上記(1)項で選考された選手を含めたそれぞれ3名の派遣選手は、ワールドカップ第2戦終了時のワールドカップポイントランキング上位者より順に選考する。
- (3) 男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m及び男子5000mの出場枠のうち、残り

の派遣選手は、上記(1)および(2)項で選考された選手を除き、第92回全日本スピードスケート選手権大会における当該種目の順位に従い、最上位者から順に選考する。

- (4) 女子5000m及び男子10000mの出場枠のうち、それぞれ4名の派遣選手は、女子3000m又は男子5000mにおいて上記(1)～(3)項の基準を順次準用して、選考する(ここで選考された選手は、女子5000m及び男子10000mの派遣標準記録の達成可否を問わず当該種目に選考する)。残りの1名の派遣選手は、すでに選考された者を除く選手の中で、第92回全日本スピードスケート選手権大会における女子5000m及び男子10000mの順位に従い、最上位者を選考する。
- (5) 男女チームパシュートの正選手各3名と補欠選手各1名は、ワールドカップ第1戦又は第2戦に選考(個人種目含む)された選手(派遣リザーブリスト登録者は除く)、又は第92回全日本スピードスケート選手権大会においてMS・TP選考条件を満たした選手の中から、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、本連盟主催の強化合宿等におけるパシュート練習での力量についての総合的な検討を加えて、選考する。また、必要に応じて、当該派遣選手団の中から出場可能な選手1名を補欠に加えることができる(この場合の補欠の優先順位は2番目とする)。
- (6) 男女マススタートの正選手各2名の内、各1名は、以下の手順①及び②に従って選考する。残りの正選手各1名及び補欠選手各1名は、ワールドカップ第1戦又は第2戦に選考(個人種目含む)された選手(派遣リザーブリスト登録者は除く)、又は第92回全日本スピードスケート選手権大会においてMS・TP選考条件を満たした選手の中から、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
 - ① ワールドカップ第1～2戦において、いずれか1つでもディビジョンAで3位以内の成績を残した選手がいた場合、当該選手を選考する。なお、複数の選手がいた場合は、より上位の成績を有する選手を選考する。同成績により優劣が決しない場合は、当該選手のワールドカップ第2戦終了時のポイントランキングを比較し、優劣を決する。それでも優劣が決しない場合は、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、優劣を決する。
 - ② 上記①によって選考に至らなかった場合、第92回全日本スピードスケート選手権大会においてMS・TP選考条件を満たした選手の中から、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
- (7) 男女チームスプリント及びミックスリレーは、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (8) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 各ワールドカップの男女チームパシュートにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、遠征中におけるワールドカップの成績や練習状況等を総合的に検討し、選考時点のJOCハイパフォーマンス

ディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、必要に応じて行うものとする。

- ・ ワールドカップ第4戦終了時点において、本選考基準によって選考された選手の成績について、本競技会における選考方針「当該年度の世界距離別スピードスケート選手権大会における日本の出場枠拡大及び次年度のワールドカップにおける日本の出場枠維持」の観点から、総合的に評価する。その後、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、本選考方針を十分に満たすと判断できなかった選手は、ワールドカップ第5～6戦への派遣を取り消す場合がある。

5. 世界距離別スピードスケート選手権大会 (3/13～16、ノルウェー・ハーマル、500m・1000m・1500m・女子 3000m・5000m・男子 10000m・MS・TP・TS)

【選考方針】

世界距離別スピードスケート選手権大会で十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

制限なし

【枠数】

ワールドカップ第1～6戦までのポイントランキング及びタイムランキング (SQRL) により、以下の国別最大枠数が割り振られる。

男子：500m (3)、1000m (3)、1500m (3)、5000m (3)、10000m (2)、MS (2)、TP (1)、TS (1)

女子：500m (3)、1000m (3)、1500m (3)、3000m (3)、5000m (2)、MS (2)、TP (1)、TS (1)

【選考基準】

対象競技会：ワールドカップ第1～4戦、第92回全日本スピードスケート選手権大会

- (1) 男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m、男女5000m、男子10000mの派遣選手は、それぞれ日本が獲得した出場枠数（ワールドカップ第6戦終了後にISUから通知される予定）に応じ、以下の通りの枠優先順位に従って選考する。

- ① 上記4項「ワールドカップ第3～6戦」における選考基準の(1)項を満たして選考された者を枠優先順位1とする。
- ② 上記①項で選考された者を除き、第92回全日本スピードスケート選手権大会における当該種目の順位に従い、最上位者を枠優先順位2とする。なお、男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m、男子5000mにおいては、上記①項を満たして選考された者がいない場合は、ここでの選考は、当該種目の順位に従い上位2名までとし、それぞれ枠優先順位1及び2とする。一方、女子5000m、男子10000mにおいては、ここでの選考を枠優先順位1とする。
- ③ 上記①及び②項で選考された者を除き、ワールドカップ第3～4戦のそれぞれについて(500mが2本ある場合は1本ごとに)、種目ごとにディビジョンAおよびBの全レースを対象としたタイムランキングを作成し、より上位のタイムランキングを有する選手を枠優先順位3(女子5000m、男子10000mにおいては枠優先順位2)とする。同ランキングにより優劣が決しない場合は、当該選手のセカンドベストにおけるタイムランキングを比較し、優劣を決する。それでも優劣が決しない場合は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部

長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、優劣を決する。

- (2) 男女チームパシュートの正選手各 3 名と補欠選手各 1 名は、ワールドカップ第 1～4 戦に選考（個人種目含む）された選手（派遣リザーブリスト登録者は除く）の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、本連盟主催の強化合宿等におけるパシュート練習での力量についての総合的な検討を加えて、日本が出場枠を獲得した際の対象選手として選考する。また、必要に応じて、当該派遣選手団の中から出場可能な選手 1 名を補欠に加えることができる（この場合の補欠の優先順位は 2 番目とする）。
- (3) 男女マススタートの正選手（各最大 2 名）と補欠選手（各 1 名）の合計各最大 3 名の選手は、それぞれ日本が獲得した出場枠数（ワールドカップ第 6 戦終了後に ISU から通知される予定）に応じ、以下の通りの枠優先順位に従って選考する。
 - ① 上記 4 項「ワールドカップ第 3～6 戦」における選考基準の (6) ①項を満たして選考された者を枠優先順位 1 とする。
 - ② ワールドカップ第 1 戦又は第 2 戦に選考（個人種目含む）された選手（派遣リザーブリスト登録者は除く）、又は第 92 回全日本スピードスケート選手権大会において MS・TP 選考条件を満たした選手の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、上記①項で選考された者を含めて枠優先順位 3 まで選考する。
- (4) 男女チームスプリントは、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ SQRL におけるリザーブリストの活用による出場枠の再配分がなされた場合、この時点において、出場可能な選手を、移動にかかる時間的な制限（フライト予約等）を含めて総合的な検討を加えて、選考する場合がある。
- ・ 男女チームパシュートにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、遠征中におけるワールドカップの成績や練習状況等を総合的に検討し、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、必要に応じて行うものとする。

【ISU ワールドカップ参加標準記録】

女子		男子	
500m	40,00	500m	36,20
1000m	1.20,00	1000m	1.12,00
1500m	2.02,00	1500m	1.50,50
3000m	4.22,00	5000m	6.45,00
5000m	4.22,00(3000m)	10000m	6.42,00(5000m)

- ※ 対象競技会は、2023 年 7 月 1 日以降に開催されたすべての ISU メンバーに参加資格が与えられている国際競技会（ISU ルール第 107 条 3 項に従う）、全日本スピードスケート距離別選手権大会、全日本スピードスケート選手権大会、全日本ジュニアスピードスケート選手権大会とする。
- ※ マススタート、チーム種目（チームパシュート、チームスプリント及びミックスリレー）にエントリーするためには、少なくとも 1 つの参加標準記録を達成していなければならない。なお、これらのチーム種目については、男女それぞれのチーム種目において最大 1 名は、1500m において女子は 2.10,00、男子は 1.57,50、1000m において女子は 1.25,00、男子は 1.16,00 のいずれかを達成していなければならない。

【派遣標準記録】

女子					男子				
	SS 標準	S 標準	A 標準	B 標準		SS 標準	S 標準	A 標準	B 標準
500m	37,74	38,02	38,38	39,27	500m	34,62	34,83	35,07	35,57
1000m	1.14,88	1.15,59	1.16,64	1.18,76	1000m	1.08,40	1.08,96	1.09,38	1.10,37
1500m	1.55,72	1.57,13	1.58,33	2.02,28	1500m	1.45,10	1.46,00	1.46,64	1.48,84
3000m	4.01,87	4.04,67	4.08,23	4.18,93	5000m	6.13,69	6.17,75	6.23,97	6.31,63
5000m	6.52,81	6.58,52	7.06,28	7.20,32 又は 4.18,93 (3000m)	10000m	12.53,70	13.05,10	13.13,38	13.28,59 又は 6.31,63 (5000m)

- ※ 対象競技会は、2024 年 7 月 1 日以降に開催された日本スケート連盟主催大会とする。なお、各国際競技会の選考基準において対象競技会が指定されている場合は、その内容に従う。
- ※ 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m、男子 5000m については、2019 年度及び 2021 年度 WC（カルガリー・ソルトレークシティー、最終戦以外）の各種目 1 番目のタイムの平均値を SS 標準、3 番目のタイムの平均値を S 標準、各種目 8 番目のタイムの平均値を A 標準、各種目 25 番目のタイムの平均値を B 標準とした。また、女子 5000m、男子 10000m については、2019 年度ヌルスルタン大会、2021 年度スタヴァンゲル大会及び 2023 年度 WC スタヴァンゲル大会の各種目 1 番目のタイムの平均値を SS 標準、3 番目のタイムの平均値を S 標準、各種目 8 番目のタイムを A 標準、各種目 20 番目のタイム又は女子 3000m、男子 5000m 各種目 B 標準の記録を、B 標準とした。